

プレスリリース

2024年1月16日

三菱マテリアル株式会社

国内初、リサイクル金属ブランド「REMINE」誕生

第一弾の錫と鉛を販売開始

～リサイクル材料含有率を国際規格ISO14021（*1）に準拠し算出～

三菱マテリアル株式会社は、非鉄金属製品におけるリサイクル材料の含有率を明示した、国内初（*2）となるリサイクル金属ブランド「REMINE」を立ち上げ、第一弾として、「電気錫」および「電気鉛」を販売します。

サステナブルな社会の実現に向け、資源循環・環境負荷低減の観点から、サプライチェーンにおける製品中の原材料などの情報の透明性ならびに追跡可能性（トレーサビリティ）を確保することは、ステークホルダーへの責任であるとともに、製品が環境に与えるインパクトを数値化することが、より一層求められています。

「REMINE」シリーズは、このような社会的なニーズに対して、当社が培ってきた強みであるリサイクル技術を用いた非鉄金属製品について、国際規格ISO14021（JIS Q14021）（*3）に準拠してリサイクル材料含有率を算出し、第三者機関（SGSジャパン株式会社）による検証を受けた、より高い信頼性を確保した非鉄金属製品です。

最初の製品は、リサイクル材料含有率100%の「電気錫」と99.6%以上の「電気鉛」です。下記専用Webサイトより、詳しい製品情報や第三者機関による証書の参照が可能です。なお、本製品の製造拠点である三菱マテリアル生野事業所（電気錫）、細倉金属鉱業株式会社（電気鉛）では、2024年度以降、実質的な再生可能エネルギー電力（*4）を100%使用する予定です。

REMINE専用Webサイト

URL：<https://www.mmc.co.jp/remine/>

三菱マテリアルのリサイクル金属

ISO14021に準拠してリサイクル材料含有率を算出し
第三者検証を受けた金属製品

REMINE

当社グループは、「REMINE」シリーズ製品のさらなるラインナップ拡大とその供給により、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(※1) :

ISO14021は製品の環境情報に関して曖昧な表現の排除や検証に必要な情報開示が求められる国際規格。

(※2) :

非鉄金属のリサイクル材料含有率をISO14021に準拠して算出し、第三者の検証を受けるという方法において国内初。2023年12月現在、当社調べ。

(※3) :

JIS Q14021の規格は、ISO14021を元に作成された日本産業規格であり、国際規格ISO14021と共通の内容。

(※4) : FIT非化石証書の調達を含む。

以上

< 本件に関するお問い合わせ >

戦略本社

コーポレートコミュニケーション室 : TEL 03-5252-5206